

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2007～2008年度 国際ロータリー ウィルフリッドJ.ウィルキンソン会長テーマ

ROTARY SHARES ロータリーは分かちあいの心

創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 橋本 恭典
幹事 鈴木 文三郎
会報委員長 酒部 正博

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2599回例会プログラム

[当年度=41回目；当月=5週目]

2008年（平成20年）6月30日（月）

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 17:30 1. 点鐘……………〈会長〉
2. 開会宣言
3. ロータリーソング斉唱……………我等の生業
4. 会長挨拶並びに会長報告
5. 退会会員挨拶……………長江 正博 会員
6. 幹事挨拶並びに幹事報告
7. バッジ交換……………〈新旧会長・幹事〉
8. 出席報告
9. 委員会報告・会報委員会
10. ニコニコボックス報告
11. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(7/7) ……クラブ協議会
各理事挨拶
(7/14) ……クラブ協議会
各委員長事業計画発表
12. RI 第1780地区（フランス）
研究グループ交換（GSE）
派遣メンバー帰国報告……………^{ながた}永田 ^{まきえ}万規衣 様
13. 点鐘……………〈会長〉
14. 閉会宣言

2. 夕食例会……………〈親睦活動委員会〉

- 18:10 1. 挨拶……………〈会長〉
2. 乾杯……………〈直前会長〉
3. 食事・歓談
4. アトラクション
5. 「手に手つないで」
6. 閉会の言葉……………〈クラブ奉仕委員長〉

19:30 散会

出席

会員総数 93名 出席免除 20名
出席義務者+免除者の内例会出席者 86名
欠席 5名 出席率 94.19%
前々回（6/16）の修正出席率 100%

委員会報告

●クラブ会報委員会

橋本会長の1年間の軌跡をつづったアルバムをお作りしましたので、贈呈をさせていただきます。



会長あいさつ

1年を振り返って

橋本 恭典



皆様の温かいご支援、ご協力のもと、「魅力あるロータリーとゆとりあるクラブ運営」をスローガンに1年間刈谷クラブの会長を務めさせて頂きました。期末にはガバナー賞も頂くことができ、おかげ様でどうか無事に、大変革期の国際ロータリーの一員として最小限の務めは達成できたものと、ご協力頂きました理事・役員・委員長をはじめ会員の皆様には心から厚く感謝申し上げます。

本年度ウィルフリッドJ.ウィルキンソンRI会長は「ROTARY SHARES」ロータリーは「分かちあいの心」をテーマに掲げられました。不要になったものを施すの

ではなく「人のために我を忘れて自らを捧げること」と定義づけられております。1年を振り返ってどの程度実践できたのか、いささか心許ない思いがします。

地区運営方針は「違いをもたらそう (One Difference)」ですが、当クラブでも各委員会をこれを含めて「魅力のあるロータリーとゆとりのあるクラブ運営」を目指しました。

この1年を振り返りますと、2ヶ月目の8月初旬には早くもガバナー訪問を頂き、課題はたくさんありましたが心理的余裕も生じ、会員皆さまのご協力のもと、比較的ゆとりのあるクラブ運営ができました。

中でも親睦活動委員会さんをお願いいたしました、各種お祝いの発表では、前方スクリーンの映像でのご紹介のみにさせて頂き、時間のゆとりが相当生まれました。

四半期皆出席の都合28万円は、昨年度までのニコボックスに加算することから変更して、ロータリー財団に寄付させて頂きました。それでもニコボックスも大変多く345万円ほど頂戴し改めて厚く御礼申し上げます。

刈谷クラブ伝統の会員増強方法であります、「アクティブメンバー・プロジェクト」ではガバナー賞を頂きました。

GSE 派遣では会員会社の社員に参加頂きましたが、芸術家が多い中、新進気鋭のキャリアウーマンでしたので、すべてに記録が彼女によってなされたそうです。今日お見えの永田万規衣さんです。また米山奨学生のスリ・クンチョロ君をインドネシアから受け入れました。

職場例会では26カ国に組織を持つ国際 NGO のオイスカの見学をさせて頂き、特にアジア各地での農林開発や環境保全活動、なかでも人材育成を通じて青年が地域のリーダーになるような研修には胸を打たれ、昼食に提供された各国の料理に舌鼓をうちました。

観劇家族例会では久しぶりの御園座で吉例顔見世の歌舞伎を鑑賞しました。

クリスマス家族例会では例年のようにロータリーバンドの皆さんに大変ご苦労をお掛けしました。

知立クラブ主催の IM では各クラブの会長による発表会となりましたが、さすがロータリー、何とかまとまりました。

高浜クラブさんとは初めての合同例会を持つことができ、知立クラブさん同様に会員皆さまのおかげで楽しい例会となりました。

花見例会では「咲いているところへ行こう」のキャッチフレーズでしたが、予定通りの老舗料亭におけるお昼と名古屋城の散り始めの桜を満喫させて頂きました。

残念なことは小谷彦蔵会員、鈴木繁会員がご逝去され寂しくなったことです。ここに改めてお2人のご冥福をお祈りいたします。

また、天災では、中越沖地震、岩手内陸地震、中国での四川省大地震、ミャンマーのハリケーン被害など大変多くの重大災害が発生し、その都度会員の皆様に温かい義援金を頂戴し感謝申し上げます。

最後になりましたが、2年間にわたる副会長を務めて頂き、たびたび例会での挨拶も頂きました石川副会長を

はじめ、会場（会長）監督の平野会員、太田クラブ奉仕委員長を筆頭に、各委員長さんにはクラブ運営にご尽力頂き感謝申し上げます。何はさておき鈴木幹事、倉内さんには1年間お任せしっぱなしで大変ご苦労をお掛けしました。

次年度は55周年の行事を控えておりますが、何事にも大変情熱をもって臨まれる塚本会長年度であります。皆様と一緒にエールを送りたいと考えております。1年間本当にありがとうございました。

退 会 会 員



長江 正博 会員

卓 話

「派遣メンバー帰国報告」

2007年度 GSE フランス派遣メンバー 永田 万規衣 様



株式会社クイックスの永田万規衣です。このたび、GSE の派遣メンバーとして、4月12日からの1ヶ月間、フランスの1780地区、ローヌ＝アルプ・モンブランへ行ってまいりました。

1ヶ月間のプログラムを無事に終えることができましたのも、GSE 委員会の皆様をはじめ、たくさんの方々にサポートして頂き、アドバイスや激励を頂いたおかげと感謝しております。そして刈谷ロータリークラブ様に、この素晴らしいプログラムにご推薦頂きましたこと、心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

派遣チームは、名古屋丸の内 RC 岡田守功先生（整形外科医）をリーダーに、豊橋東 RC 杉浦雅子さん（ピアニスト）、名古屋北 RC 高橋洋一郎さん、（東急ホテル）、名古屋丸の内 RC 辻和余さん（ヴァイオリニスト）、そして私の5名です。

私たちが訪れたのはフランス南東部に位置するローヌ＝アルプ（Rhône-Alpes）地域圏です。8つの県で構成されており、パリに次いでフランス第2の都市圏規模を誇るリヨンがあり、地域圏全体の面積・人口・経済規模のいずれもフランス第2位の地域です。日本であれば、東京に次いで大きい、大阪くらいの規模です。ローヌ＝アルプ地域圏のうち RID1780の地区範囲はサヴォワ県、オートサヴォワ県、ドローム県、イゼール県、アルデシュ県であり、私たちはこの5県を移動し、各地の RC の方々

と交流しました。

参加した例会は全16回、19クラブ、トノンレマン、シャモニー、アヌシー、トノンエヴィアン、シャンベリー、グルノーブル、ロマン、ヴァランス、トゥールノン、オブナー、ブゴワンの順に11か所を移動しました。

プログラム最終地のボーゴワンの例会では応援に来てくださった江崎ガバナー、豊島パストガバナー、深谷財団委員長ほか、GSE委員の皆様にお会いすることができました。RID1780ガバナー Aldo Dalla Zuanna氏とともに各地の訪問に同行される、というハードなスケジュールをこなしつつ、私たちの応援のために滞在地から高速で2時間近くかけて来てくださいました。短い時間しかお会いできませんでしたが、久しぶりに皆様のお顔を拝見できたときは、本当に嬉しく思いました。



私は、全部で11家族のホームステイを体験しました。フランス語がうまく話せず、また口下手な私でしたが、身振りや、英語や、辞書を駆使して、何とか気持ちを伝えることができました。そうした私のフランス語を理解しようと、ホストファミリーは一生懸命に耳を傾けてくれました。私たち日本人が、下手でも、なんとか「フランス語で話そうとしてくれること」に対して、とても喜んでくれました。そしてファミリーは私たちのために日本語を勉強してくれて、こんにちは、お休みなさい、と日本語で話してくれ、とてもうれしく思いました。

この、GSEのプログラムに携わることで、これまでの私の人生にはない様々なことを経験する機会に恵まれました。なかでも出会い。GSEを通じてさまざまな人に出会いました。

フランスの人たちはもちろん、ロータリークラブの皆様、派遣チームメンバーといった、まったく違う職業・年齢・国籍の、価値観の大きく異なる人と出会いました。人と出会い、会話をし、理解しようと耳を傾けることによって共感したり、励まされたり、敬意を感じたり、刺激を受ける。また、その人を通じて自分の知らない世界を知ることができる。それは、歴史や文化を学ぶように意味のあるものだと気がきました。

そして、出会いは、自分の心に刻まれ、蓄積されていき、次に何か自分がアクションを起こそうとしたときのきっかけや、原動力となるのだと思いました。私の中に蓄積された、たくさんの人と出会った記憶は、きっと今後の人生の糧になると思います。そして、派遣が決まってから半年間、互いに協力して準備を進め、たくさんのお客様の経験を共にした派遣メンバーとの思い出は、何物にも代え難いものとなりました。メンバーとともに過ごした時間はとても楽しく、あっという間の1ヶ月でした。

このような貴重な体験をさせて頂くことができ、GSEのプログラムは本当に素晴らしく、このプログラムに参加できたことを、本当に幸運に思います。そして、たくさんの方々のご尽力によって私たちがこの研修を全うすることができたのだと、感謝の気持ちで一杯です。

江崎ガバナー、GSE委員会の皆様をはじめ、お世話になり、応援してくださったすべての方に深く感謝しています。本当にありがとうございました。

懇親会風景

